

もし地震が起こったら

○自分の身と家族の身の安全を！

地震が起きたら、第一に身の安全を確保しましょう。
頑丈なテーブルや机の下に身を隠し、頭部の保護を忘れずに。

○揺れを感じたら火の始末！

地震を感じたら火を消しましょう。もし消せない時は揺れがおさまったらすぐに落ち着いて火の始末をしましょう。火の始末が大きな被害を防ぎます。

○出口の確保をしましょう。

建物が歪んで戸が開かなくなることがあります。地震が発生したら玄関などの扉を開けて出口の確保をしましょう。

○出火したらすぐ消火しましょう。

もし火災が発生しても天井に燃え移る前なら初期消火できます。
大火災にならないよう、となり近所で協力して消火しましょう。

○慌てて外に飛び出さない。

慌てて外に飛び出すと瓦や看板、ガラスなどが落ちてきて危険です。しかし、柱やはりのきしみ具合等から危険を感じた時は、座布団などで頭部を保護して外にでましょう。
周囲の状況をよく確かめて落ち着いて行動しましょう。

○狭い路地、塀ぎわ、崖や川に近寄らない！

落下物やブロック塀・自動販売機等の倒壊の危険性のあるところは近寄ってはいけません。危険な場所にいるときは急いで離れ、安全な建物や公園などの安全な場所へ避難しましょう。
地震の揺れを感じて、しゃがみ込んでしまいがちなのは特に気をつけてください。

○山崩れ、崖崩れに注意！

山ぎわや急傾斜地で地震を感じたら、すぐに安全な場所に避難しましょう。

○避難は徒歩で、持ち物は最小限にしましょう。

荷物が多すぎると避難の支障になります。
持ち物は必要な物だけにして、自動車は使わず徒歩で避難しましょう。

○みんなで協力し合って応急救護をしましょう。

大震災になれば、多数の死傷者が出て医療機関等の対応が限界になることが予測されます。お年寄りや身体の不自由な方、ケガ人などに声をかけ、みんなで助けあって応急救護をしましょう。

○正しい情報を聞いて行動しましょう。

テレビやラジオなど、正しい情報をもとに行動しましょう。
災害時はデマやうわさに惑わされてパニックになりやすいので注意してください。